

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成30年度事業 点検・評価調書

5-III-1

5-III-1

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり		取組項目	体験型プログラムの整備
	節	Ⅲ. 佐渡金銀山・関連地域資源を活用した島内及び全県的な魅力の発信		
事業(施策)名	1 「佐渡金銀山」体験型観光プログラム整備事業		事業主体	佐渡市観光振興課
	事業実施期間	H28～R4	関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡市社会教育課、佐渡観光交流機構、(株)ゴールデン佐渡、佐渡汽船(株)
事業概要	【事業目的】	○体験型プログラムの整備により、佐渡金銀山の理解促進と滞在時間の増加及び佐渡観光全体の更なる魅力向上を図る。		
	【事業内容】	○関係機関が連携を図りながら、効果的な体験型プログラムの整備を図り、その発信に努める。		
30事業計画と実績	【30年度計画】	<ul style="list-style-type: none"> ●島内体験プログラムに宿泊、高速船を加えたパッケージ商品を造成する。 ●史跡の価値と保存の必要性を理解してもらおうため、宿泊を前提とした体験プログラムとしてライトアップやプロジェクションマッピングなどを実施する。 		
	【30年度実績】	<ul style="list-style-type: none"> ●JR・佐渡汽船と連携して宿泊・高速船を加えた体験パッケージ商品を造成し、5,000人が利用(見込み)。 ●北沢浮遊選鉱場にて、史跡の歴史に絡めた内容のプロジェクションマッピングを実施し、1,330人の利用があった。 ●北沢浮遊選鉱場ライトアップを実施し、期間中延べ14,145人の利用があった。 ●プロジェクションマッピング及びライトアップは若年層の観光客も多く、SNS等での発信も盛んだったほか、旅行エージェントのツアーに組み込まれたこともあり、史跡の新たな価値の発信につながった。 		
課題・今後の取組	【課題】	■地元住民との交流につながり、佐渡金銀山への理解を深めることができる体験プログラムの造成について、地元との更なる調整が必要である。		
	【今後の取組】	■地元住民が主体となった受け入れ体制の整備を進める。		
事業評価	【事業の達成度】	◇当初計画どおり情報発信を行うことができたことから本評価とした。 [a ○ b ・ c]		
	【事業実施の効果】	[a ○ b ・ c]		
	【総合評価】	[A ○ B ・ C]		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。